



研修終え園芸栽培へ第一歩

3月9日(木)、秋田市園芸振興センターの令和4年度冬期農業研修の閉講式が同センターで開かれました。昨年10月からの半年間で5名が冬期間における園芸品目の栽培技術や知識を習得し、このうち3名が自営で、2名が農業法人で園芸栽培に挑みます。5名は修了証書を受け取り、園芸品目と稲作との複合経営や農業収入の増加などへの抱負を語りました。

同センターで行われている新規就農研修では、9名が2年間のカリキュラムを終えました。修了生はこの春から農家としての生活を始めます。

📷 修了証書を受け取った研修生ら



「いぶきの里」運営協議会総会

3月8日(水)、当JA直売センター「いぶきの里」運営協議会の総会と研修会が遊学舎で開かれました。「いぶきの里」に出荷している生産者が令和4年度の販売額や来客数などを確認し、防犯対策や出荷規格などについての検討がされました。また、「いぶきの里」の運営に長年尽くしている運営協議会会長の伊藤邦夫さんとオープン以来勤続する従業員に感謝状が贈られました。

研修会では、消費税のインボイス制度や農薬の使用時の注意点、生産履歴などを学びました。

📷 感謝状を受け取る伊藤前会長(左)



令和4年分確定申告相談会

所得税などの申告納税にかかる相談会が、確定申告期間の2月から3月にかけて各支店や営農センターなどで行われました。令和4年分の青色申告を行う生産者が多数訪れ、近年は電子申告「e-Tax」を行う人が増えていることから、パソコンを持ち込む姿も見られました。

当JAの営農経済部や支店の職員、税理士などが来場者の疑問に答えながら、内容に不備がないか持ち込まれた書類を確認したり電卓などで再計算したりしました。期間中に1200件の相談を受け付けました。

📷 申告内容を確認する生産者ら



超神ネイガー・シグマと交通ルールを学ぶ

3月10日(金)、「JA共済プレゼンツ超神ネイガー交通安全教室」が秋田市高陽の秋田幼稚園で開かれました。県内各地の園児を対象に行われているもので、令和4年度での当JA管内では2回目となりました。

交通安全教室オリジナルの超神ネイガー・シグマがアクションを披露すると、大きな歓声が上がりました。園児は「横断歩道を渡るときは何に気を付ける?」「信号機が点滅したらどうする?」などと聞かれると元気よく答え、ネイガー・シグマや仲間たちと横断歩道の渡り方を練習しました。

📷 楽しく交通ルールを確認しました